

雨水マスの施工

掘削・基礎

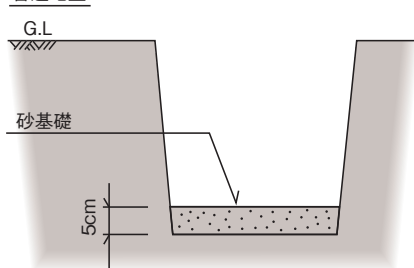
掘削はやり方などを用いて、所定の深さに凹凸のないように平坦に直線状に掘削し、基礎部は木だこなどで十分に付固めてください。

雨水マスの基礎は、原則として5cm以上の砂基礎とします。軟弱地盤の場合は碎石または栗石などを敷き、その上に砂基礎を施してください。

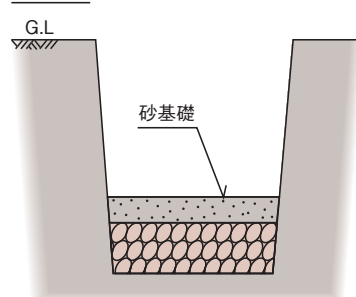
マス設置部分の掘削幅(参考)

マス径	掘削幅 (cm)
150	40 ~ 50
200	
300	50 ~ 60
400	50 ~ 65

普通地盤

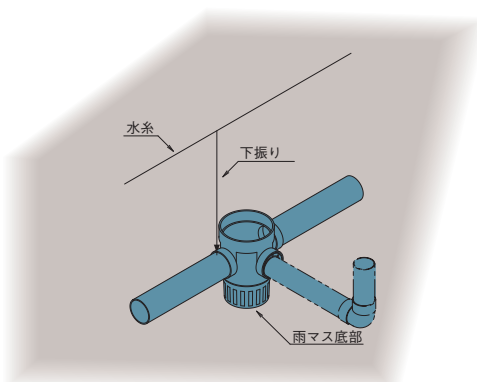
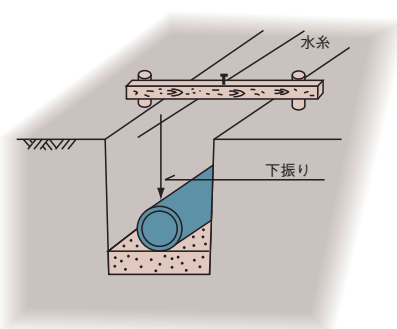


軟弱地盤



据付接合

下げ振り、水準器などを使用して正確に芯出しを行い、下流側又は上流側どちらか一方から順序よく接続してください。(地獄配管を防止するため)

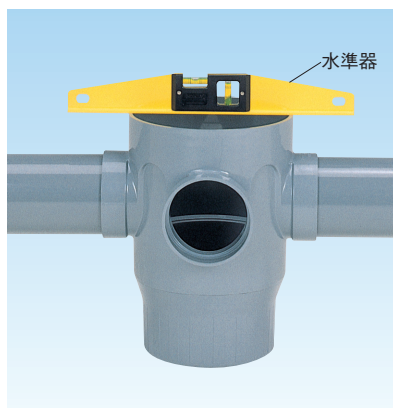


マス底部の据付

マス深さ、位置を確認し、水準器を用い浸透マス底部を排水管こう配にあわせて据え付けます。

(マス底部を水平に設置する場合は、受口部で規定の管路こう配を設けて接続してください。)

・排水管が急こう配の場合は、自在継手などを用いて配管します。

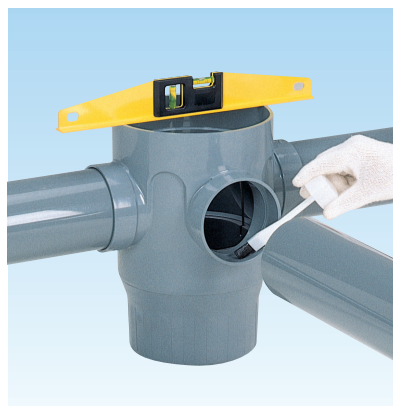


排水管の接続

水準器を用いて、管路こう配及びマス底部の傾き等を確認しながら、マス底部に、排水管を接続します。(接着接合・ゴム輪接合)

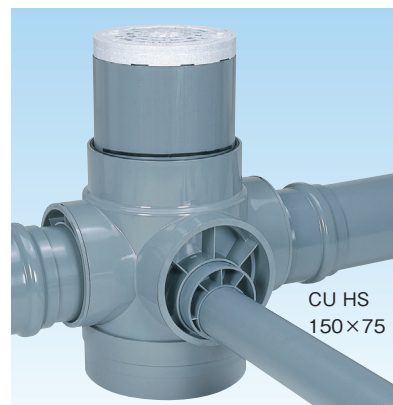
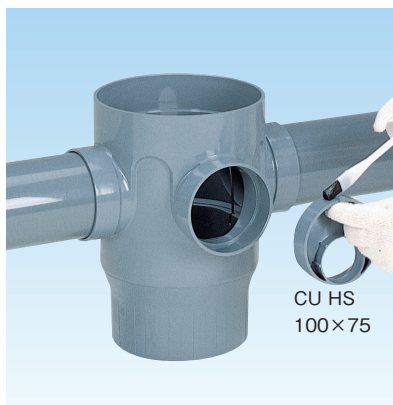
接着接合の場合は、受口、差口の接着面に接着剤を均一に塗布し、受口ストッパーまで挿入接合し、30秒から1分程度保持してください。

ゴム輪接合の場合は、受口のゴム輪、差口面に滑材を均一に塗布し、差口標線まで挿入してください。



枝管の接続

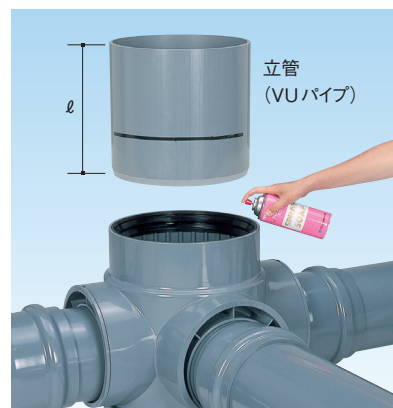
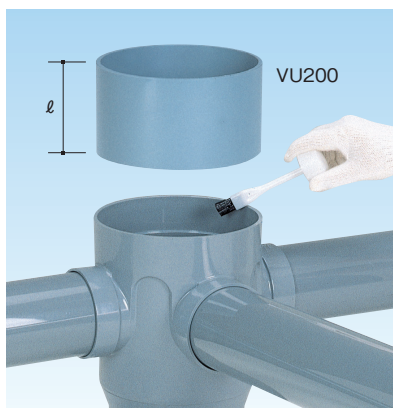
偏芯ソケットは、管底接続・管頂接続ができます。



立管の接合

立管長さ(ℓ)は、マス受口ストッパー部から地表面までの高さから、使用するふたの厚みを差し引いた寸法になります。

立管は、原則として垂直に接合します。
(接着接合・ゴム輪接合)



ふたの接合

ふたは、原則として地表面と同じ高さになるよう設置します。(接着接合・ゴム輪接合)

注:ふたの種類によってはバスケットが取り付け、取り外しできなくなります。必ず事前に確認願います。



埋戻し

マスの移動、立管の傾き等に注意し、立管周辺を均等に一定深さごとに埋戻してください。

発生土を用いる場合は、石、瓦礫などの固形物を必ず取り除いてください。

床面仕上げ方法、ふたの防護方法は、汚水マスと同様にできます。

